

# 最近の雇用情勢について

(平成30年2月)

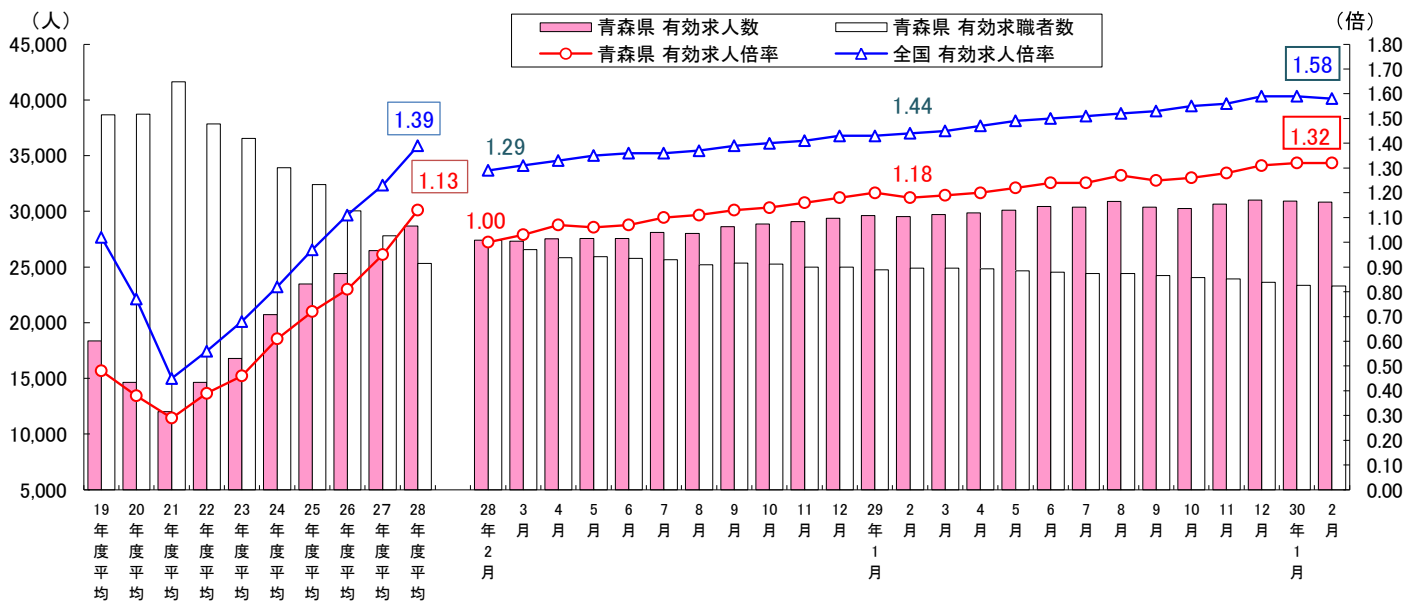
青森労働局

## I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.3%減少し30,816人、有効求職者数(同)は0.3%減少の23,281人で、有効求人倍率(同)は1.32倍となり、前月と同水準となった。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.44倍となり、前月を0.01ポイント上回り、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

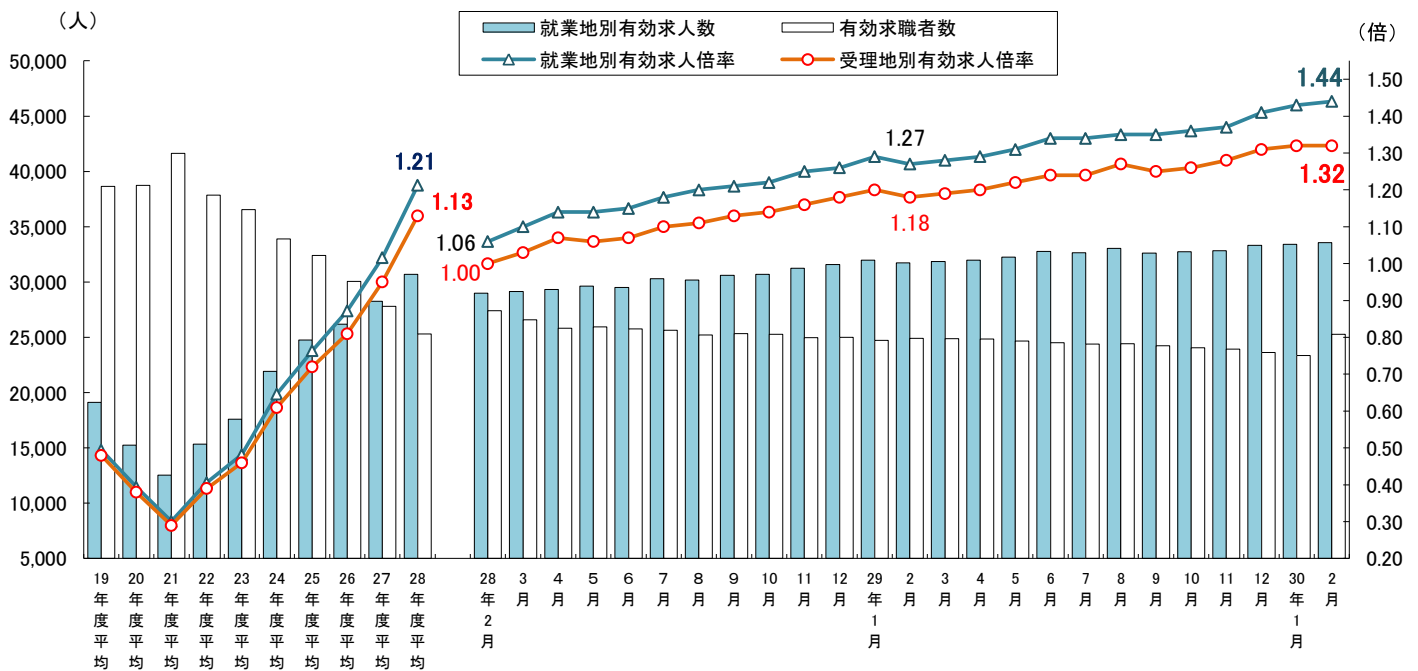
### 受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 【参考指標】

### 就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

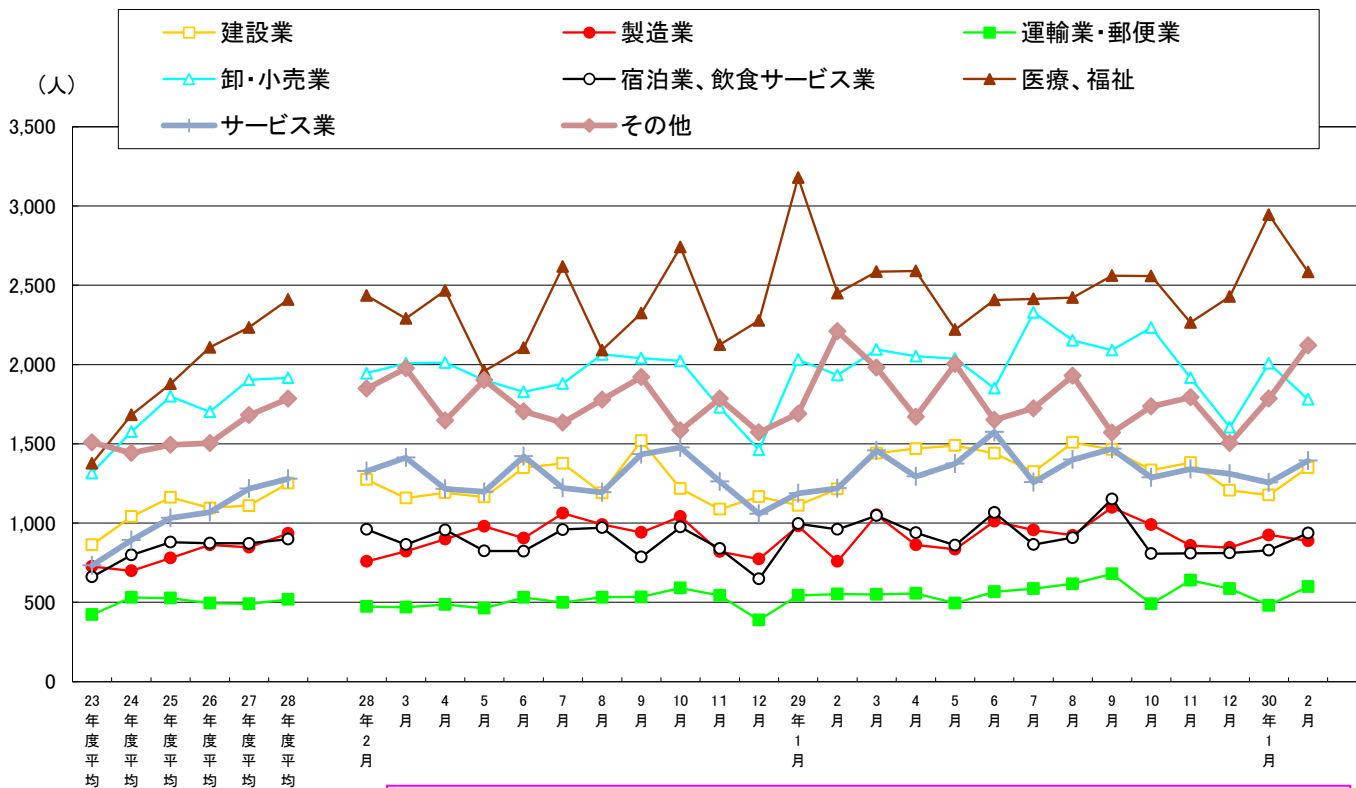
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人数(原数値)は前年同月比3.1%(355人)増加、前月比2.2%(251人)増加の11,653人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、製造業、情報通信業、運輸、郵便業、医療・福祉、サービス業等で増加し、卸売・小売業、不動産、物品賃貸業、宿泊、飲食サービス業、生活関連サービス、娯楽業等で減少した。製造業では、食料品製造、飲料・たばこ・飼料製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、パルプ・紙・紙加工品製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



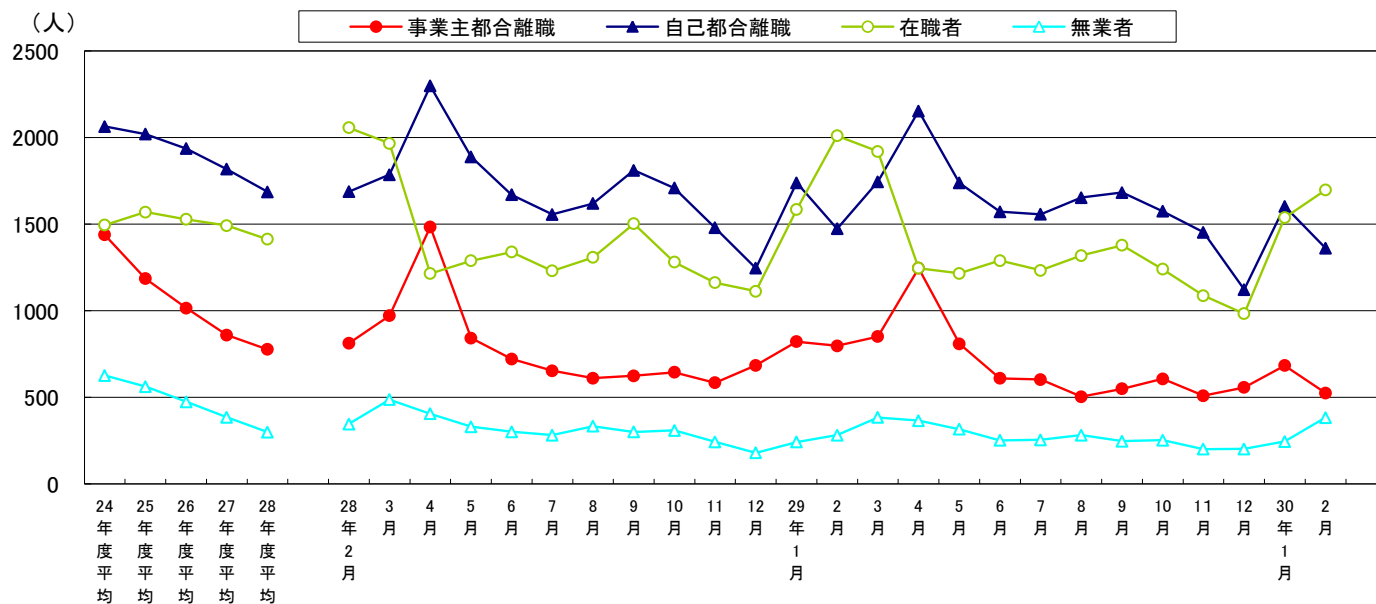
平成26年4月内容分り、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数は、前年同月比12.7%(587人)減少、前月比2.6%(109人)減少の4,034人。

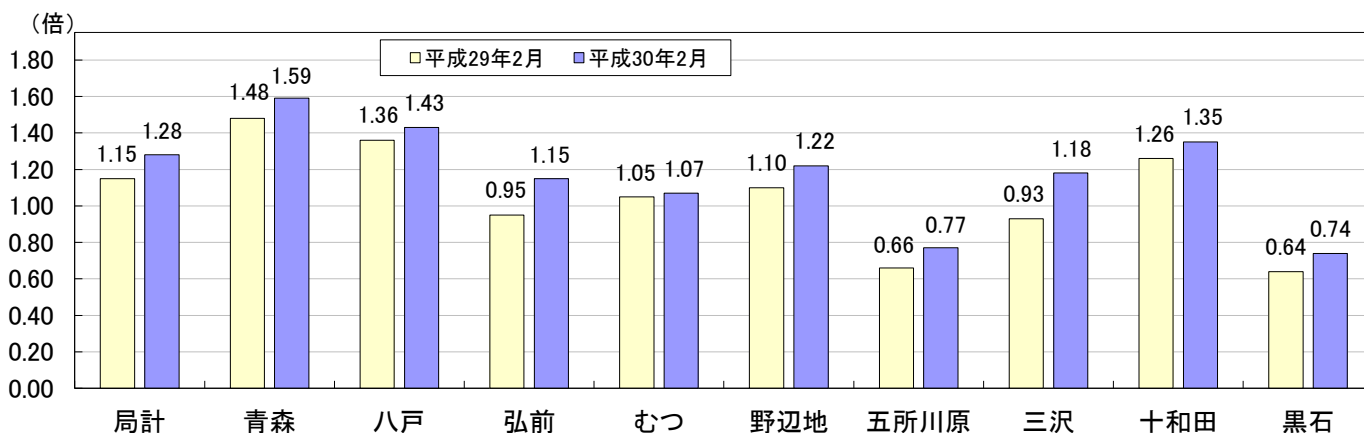
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は15.6%(314人)減少し、離職者は16.1%(374人)減少、無業者は35.9%(101人)の増加となった。

離職理由でみると、事業主都合は34.2%(272人)の減少、自己都合は7.6%(112人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.28倍となり、前年同月を0.13ポイント上回った。  
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

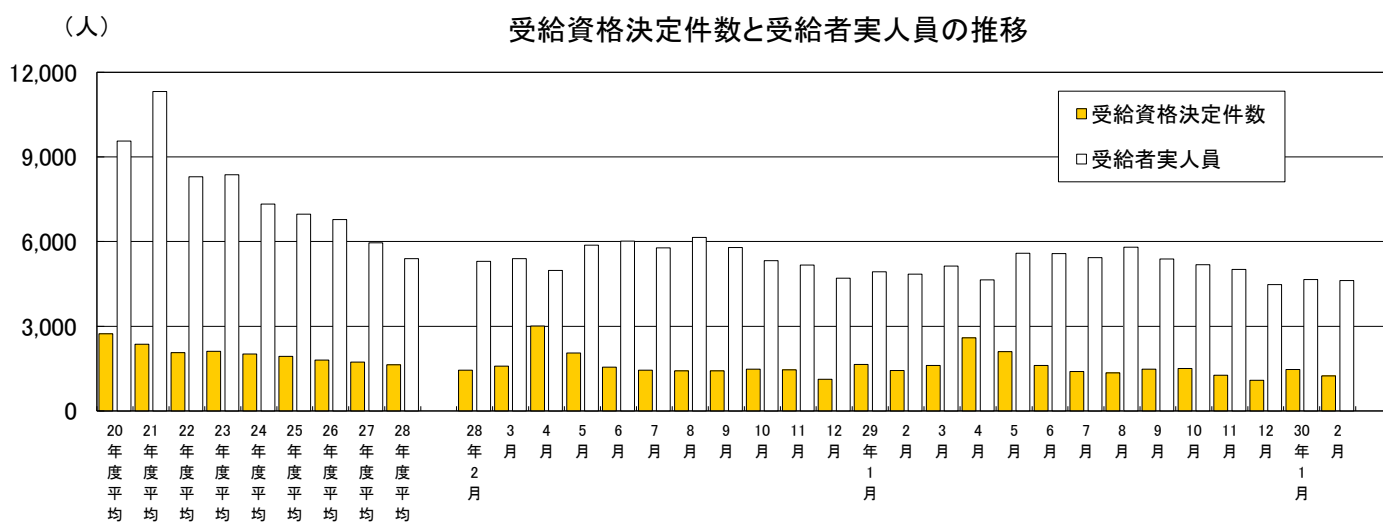


|        | 局計     | 青森    | 八戸    | 弘前    | むつ    | 野辺地   | 五所川原  | 三沢    | 十和田   | 黒石    |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 有効求職者数 | 23,742 | 6,056 | 5,536 | 4,186 | 1,217 | 925   | 2,035 | 1,330 | 1,134 | 1,323 |
| 有効求人数  | 30,418 | 9,636 | 7,905 | 4,794 | 1,307 | 1,133 | 1,566 | 1,573 | 1,529 | 975   |

#### V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比4.6%(224人)減少、前月比では0.7%(34人)減少の4,622人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月13.2%(189件)減少、前月よりも15.0%(220件)減少し1,243件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比7.8%(17人)増加、前月比26.6%(85人)減少し235人となった。



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

